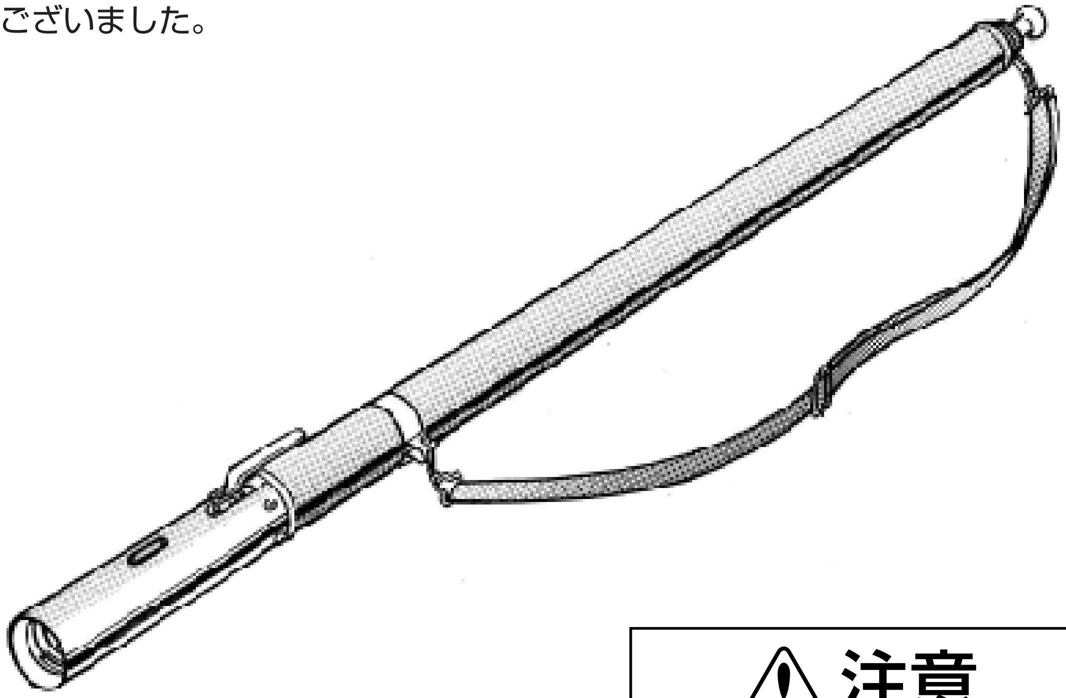
TRUSCO

草焼バーナー TB-7000

取扱説明書 〈生産物賠償責任保険付・保証書付〉

このたびは屋外用携帯石油バーナー
「 草焼バーナー TB-7000 」を
お買い上げいただきまことにありが
とうございました。



⚠注意

正しくご使用していただくため
ご使用前に必ずこの取扱説明書
をお読みください。またお読み
いただいた後も大切に保管して
ください。

目次

特に注意していただきたいこと・・・1〜2
使用する場所/部品交換のしかた・・ 2
各部の名称／仕様 ・・・・3
使用方法 ・・・・4〜5
日常の点検・手入・保管 ・・・・6
故障・異常の見分け方と処置方法・・6
アフターサービス ・・・・7

屋外専用

◆特に注意していただきたいこと

イラストの横にある マークは「禁止」、マークは「強制」、マークは「注意」を表しています。

⚠危険（取扱を誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されることを表します。）

■ガソリンの使用厳禁

燃料は必ず灯油を使用してください。ガソリンなど揮発性の高い油は絶対使用しないでください。火災の原因になります。

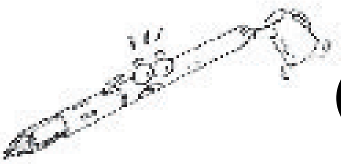
⚠警告（取扱を誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定されることを示します。）

■可燃物の近くでの使用禁止

火気厳禁の場所、家屋、板べい、かやぶき屋根、はめ板などの燃えやすいもののそばでは火災の原因になりますので絶対に使用しないでください。

■給油時は消火してから

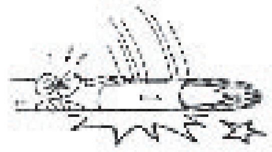
給油は必ず消火してから行ってください。火をつけたまま給油すると火災の恐れがあります。



⚠注意（取扱を誤った場合、使用者が傷害を負う危険、及び物的損害のみの発生が想定されることを示します。）

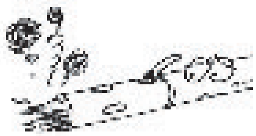
■落下禁止

両手でしっかりと持って作業してください。予想しない事故が発生する恐れがあります。



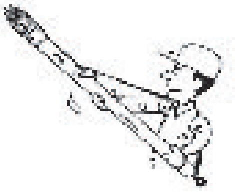
■異常時使用禁止

におい、すすの発生、炎の色など異常燃焼を起こしたときは使用しないでください。緊急の場合でもあわてずに消火してください。



■上向け使用禁止

上に向けて使用しないでください。



■火傷に注意

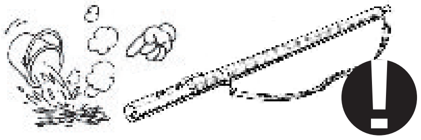
燃焼中や消火直後は高温部に手などふれないように注意してください。火傷の恐れがあります。

◆特に注意していただきたいこと

警告　火災に注意

■消火を確認

使用後は、必ず灯油バーナーや燃やしたものの消火を確認してください。必ず水をかけ火だねが残っていないことを確認してください。

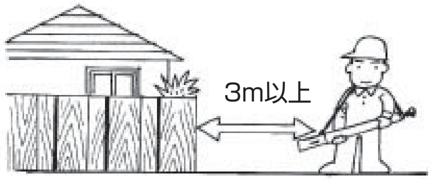


●風が強いとき、火災の発生の恐れのある場合は使用しないでください。

●使用の際は消火用の水、又は消火器等を準備してください。
●消火後、時間をおいてから再度消火を確認してください。
●燃やしてはならない物、場所にはあらかじめ水をかけておいてください。
●植木など生木でも燃えることがありますので十分注意してください。
●火災は思いもかけぬことから発生することがありますので十分注意してください。

◆使用する場所 ——— 安全に使用するために ———

●可燃物(家屋、板べい、かやぶき屋根、はめ板など)、火気厳禁の場所からは3m以上離れて使用してください。



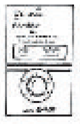
●家屋、板べい、かやぶき屋根、はめ板など燃えやすいものの近くでは使用しないでください。

●可燃性ガスの発生しない場所またはたまらない場所で使用してください。また可燃性ガスが発生するものを使用しないでください。
●必ず屋外で使用してください。
●使用は、まわりに人や動物がいないことを確かめてください。
●お子様には絶対使わせないようにしてください。またお子様の手の届かない場所に保管してください。
●使用の際は、作業しやすい靴と衣類を着用してください。

◆部品交換のしかた

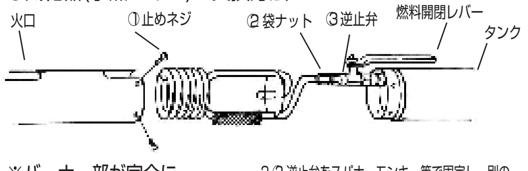
気化器(予熱パイプ)、パッキンは消耗品です。破損した場合は別売の交換用部品(右図)と早めに交換してください。

・交換用気化器
KY-00



・交換用パッキン
KY-10

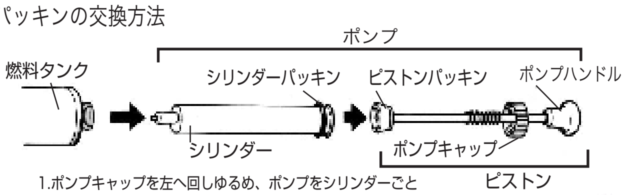
●気化器(予熱パイプ)の交換方法



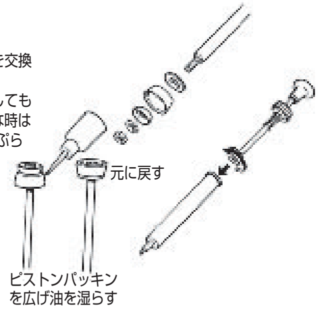
※バーナー部が完全に冷めてから交換してください。

1.タンク内の圧力を抜いて、燃料開閉レバーが閉まっていることを確認します。
2.① 止めネジ4本をとり、火口を取り外しします。
2.③ 逆止弁をスパナ、モンキー等で固定し、別のスパナ、モンキー等で② 袋ナットを矢印方向に回してはずします。気化器(予熱パイプ)がはずれます。
4.新しい気化器(予熱パイプ)を逆の手順で図のような向きに組み付けます。

●パッキンの交換方法



1.ポンプキャップを左へ回しゆるめ、ポンプをシリンダーごと燃料タンクから引き抜きます。
2.シリンダーからピストンを引き抜きます。
3.シリンダーパッキンを交換します。
4.ピストンの先端ナットをゆるめピストンパッキンを交換します。
5.ピストンパッキンが乾燥しているとピストンを押しても抵抗なく、加圧できないことがあります。この様な時は指でピストンパッキンを広げ、油(機械油等、てんぷら油でも可)湿します。
6.ピストンをシリンダーにいれます。
★この時ピストンを回しながら入れるとピストンパッキンがしわにならず簡単に入ります。
7.ポンプを燃料タンクに入れポンプキャップを右に回し、きつく締めます。

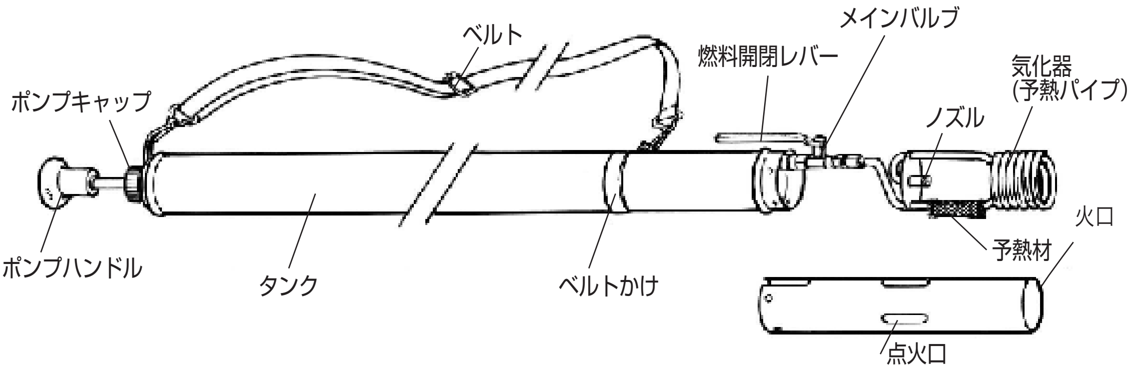


交換の際の注意

1.パッキンの交換は本体が完全に冷めてから行ってください。
2.パッキン交換後、灯油漏れ等がないことを確認してください。

◆ 各部の名称/仕様

■各部の名称（分解図）



■仕様

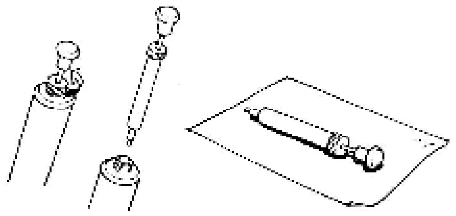
型　番	TB-7000
使用燃料	灯油
タンク容量	1.5R
連続燃焼可能時間	約50分
全長	1285㎜
重量	2.4kg
火炎直径	50㎜
火炎長さ	300㎜
予熱時間	約3分
発熱量	19.8kW(17,000kcal/h)
付属品	注油プレート（掃除針付） 予熱材（予備用）

■燃料

1.燃料は必ず灯油(JIS1号灯油)を使用してください。
2.変質灯油、汚れた灯油、水の混じっている灯油などは絶対使用しないでください。
3.灯油は必ず火気、雨水、ごみ、高温及び直射日光を避けた場所に保管してください。

■給油

1.燃料開閉レバーが閉まっていることを確認します。
2.ポンプキャップを左へ回し、ゆるめ、ポンプを抜き取ります。
※この時抜き取ったポンプは、ゴミ等の付く場所に置かないでください。ゴミ等が燃料に入ると故障の原因になります。



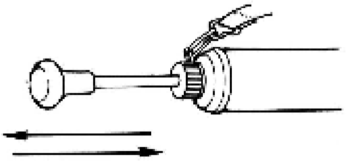
3.タンクに灯油を約1.3L入れます。
※タンク容量は1.5Lですが0.2Lは空気室として確保してください。

4.給油後、ポンプを差し込んでポンプキャップを強く締めます。
※灯油があふれた場合は布等でよく拭き取ってください。

◆ 使用方法

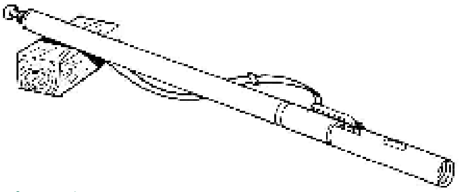
■点火前の準備

1.ポンプで圧力を5～6回加えます。



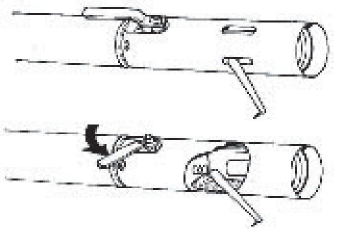
> **⚠危険**
>
> 圧力を加えた後、タンクから灯油の漏れにじみがないことを必ず確認してください。灯油の漏れ、にじみがある場合は絶対に使用しないでください。使用中もときどき灯油の漏れがないことを確認してください。

2.図のように本体をポンプ側のタンクが高くなるように地面に置きます。



※ポンプ側を高くすることによりタンク内のエアーがノズルから出るのを防ぎます。

3.気化器に灯油をため予熱材に灯油を湿らすため、火口横穴より付属の注油プレートをノズル前方に差し込み燃料開閉レバーを開きます。

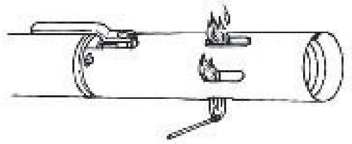


4.灯油が注油プレートにあたり、予熱材に十分しみたら燃料開閉レバーを閉じます。

※付属の注油プレートを紛失した場合は、金属へらなどを代わりに使用してください。

■予熱

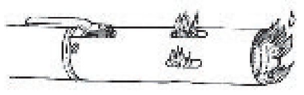
1.燃料開閉レバーを閉じた状態で、点火口より予熱材にマッチ等で点火します。

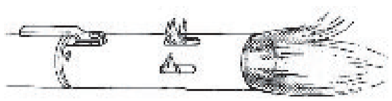


※風のある時は、火口先端に風が流れる様に追い風で予熱を行ってください。

2.火炎が噴射して炎が大きくなるまで(約3分間)十分に予熱します。

> **⚠注意**
>
> 予熱中、火口から火のついた灯油が噴出することがあるので火口前方に可燃物がないこと、人がいないことを確認してください。





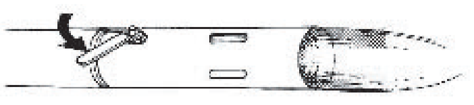
徐々に火炎が噴射します。

※予熱時に燃料開閉レバーのところから白煙の出ることがありますが、異常ではありません。

> 火炎が噴射して炎が大きくなるのは、気化器(予熱パイプ)の中の灯油が気化され膨張し、ノズルから噴射するためです。

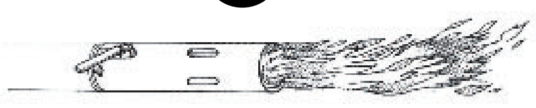
■予熱の完了・火力調整

1.火炎噴射後、炎が小さくなったら燃料開閉レバーをゆっくり開きます。

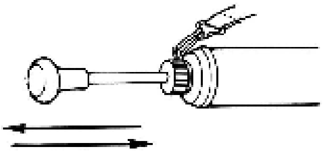


⚠警告

予熱不十分のまま燃料開閉レバーを開くと生火が大きく燃え上がったり、炎が5～10m飛び出していくことがあり非常に危険です。予熱を十分行ってから燃料開閉レバーを開いてください。



2.生火(灯油が気化されずに液体のまま噴射し、赤く燃え上がる状態)が出ないことを確かめてからポンプを約10回ゆっくり押して使用します。



3.火力調整は、圧力の強弱で、火力を見ながら行います。

※生火が出る場合は予熱不十分です。燃料開閉レバーを閉じ、火炎が噴射するようになるまで十分予熱を行ってから使用してください。
※ポンプを必要以上に押すと、燃料の消費が早くなるばかりでなく、気化器(予熱パイプ)が冷やされ生火になることがありますので4～5分おきに火力を見ながら少しづつポンプを押してください。

■緊急時の消火方法

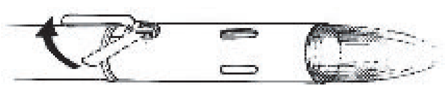
緊急の場合は燃料開閉レバーを閉じ、バーナー部を水中につけるか、又消火器を使って消火します。

⚠注意

消火用の水、又は、消火器を必ず準備してから使用してください。

■消火

1.燃料開閉レバーを閉じます。気化器(予熱パイプ)内に気化ガスが残っているため火はすぐには消えませんが次第に消えてゆきます。



2.使用後は、完全に消火したことを確かめてポンプキャップをゆるめ、タンク内のエアーを抜き、再びポンプキャップを締め直します。

上手な雑草の焼却方法

●雑草は生えはじめに焼き払うのが最も効果的で簡単です。また焼くことにより害虫退治、土壌の殺虫、殺菌、活性化、雑草の種・毛根の焼却など様々な効果があります。

●長く伸びきってしまった青草を焼く場合は一度に焼ききろうとせず、ゆっくり歩くぐらいの速度で一度簡単に焼いてください。2～3日後、青草は枯れています。さらにもう一度枯れたものを焼却すれば効率よく処理できます。

◆日常の点検・手入れ

■点検・手入れの際の注意

●日常の点検、手入れは必ず行ってください。
●点検、手入れは消火し、必ずバーナー部が完全に冷めてから行ってください。
●故障または損傷したと思われるものは絶対使用しないでください。
●不完全な修理は危険です。万一具合が悪くなって処理に困るような場合は、お買い求めになった販売店または、当社「お客様技術相談窓口（テクノセンター）」70120-509-849 までご相談ください。

■点検・手入れ方法

●各部に油もれ、油のにじみがないか確認してください。
●燃料タンクに油もれ、エアもれがある場合はパッキンを交換してください。(交換方法は2ページ参照)
●ノズルがつまった時は付属の注油プレートに付いている。掃除針で掃除してください。

●気化器(予熱パイプ)は消耗品です。使用前に灯油がノズル以外の気化器からにじみ出る場合、また燃焼中青色の火炎の中に赤い炎が出るような場合は、気化器が部分的に穴があき破損したと思われます。このような時は新しい気化器と交換してください。(交換方法は2ページを参照)

■保管

●長期間使用にならない時は灯油を完全に抜きとって保管してください。
●お子様の手の届かない場所に保管してください。
●直射日光の当たる場所に放置したり、雨ざらしにしないでください。
●転倒・落下させないでください。

⚠注意 炎天下に放置するとタンク内の圧力が上がりポンプが変形して抜けなくなることがあるので十分注意してください。

◆故障・異常の見分け方と処置方法

※生火…灯油が気化されずに液体のまま噴射し赤く燃え上がる状態

原因 ＼ 現象	燃焼中火炎が小さくなる	火炎がいきつきして安定しない	使用中に火が消える	灯油がノズルから噴出しない	生火※が出る	タンクに加圧できない	処置方法
予熱が不十分である					○		予熱をやり直す
タンク内の圧力が低い	○	○		○			加圧ポンプによって加圧操作をする
ノズルがつまっている	○			○			ノズルを付属の掃除針で掃除する
燃料が不足している	○		○				消火してから燃料を補給する
圧力のかけすぎ					○		ポンプキャップをゆるめタンク内の圧力を抜き再び予熱を行う
急激な加圧		○			○		ポンプキャップをゆるめタンク内の圧力を抜く
焼却時に出る煙を吸い込んだことによる酸欠			○				火口を焼却物から離して追い風になるように使用する
ピストンパッキンが乾燥している						○	ピストンパッキンに油をつける。それでも加圧できない時は新しいパッキンと交換する。
気化器が破損している					○		新しい気化器と交換する

◆ アフターサービス

アフターサービスを依頼する前に「故障・異常の見分け方と処置方法」を見てもう一度確認してください。確認の上ご不明な場合は、ご自分で修理なさらず、お買い求めになった販売店または当社「お客様技術相談窓口(テクノセンター)」 70120-509-849 までご相談ください。

草焼バーナー TB-7000　保証書

この製品は万全を期していますが正しい使用にもかかわらず万一故障した場合は本保証書に製造番号、お買上げ年月日、販売店名、ご芳名、ご住所、お電話番号および症状をお書き添えのうえ、お買上げの販売店名に修理をご依頼ください。

製品名・型式	草焼バーナーTB-7000	ご芳名
製造番号		ご住所
保証期間	お買上げ日より1年間	
お買上げ日	平成　年　月　日	お電話　(　　)

取扱販売店・住所・電話番号	症状

品質保証規定

※この保証規定は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

1.保証期間内に、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意に従った正常なる使用状態において、万一故障した場合には、無料で修理いたします。
2.修理依頼時には、つぎの事項にご注意ください。
・必ず商品と本保証書をご提示ください。
・保証期間を過ぎた修理依頼も商品と本保証書をご提示ください。
・商品と本保証書の提示のない場合は、修理をお断りすることがあります。
・ご贈答品等で本保証書にお買い上げ販売店に修理がご依頼できない場合には、当社「お客様技術相談窓口(テクノセンター)」70120-509-849までご連絡ください。
3.保証期間内でも､つぎの場合は有料修理になります。
・火口、ノズル、気化器(予熱パイプ)、パッキン類等の消耗品の交換。
・使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷。
・お買い上げ後の落下、移動、輸送等による故障及び損傷。
・火災、地震、水害、落雷、塩害、弊社指定以外の燃料使用によるもの、その他、天災地変、公害による故障及び損傷。
・保証書の提示がない場合。
・本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。
4.本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
5.本保証書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

トラスコ中山株式会社

総発売元 **トラスコ中山株式会社**
〒578-8501　大阪府東大阪市新庄西50
お客様技術相談窓口(テクノセンター)　TEL0120-509-849
FAX0120-509-839
E-mail　techno.center@trusco.co.jp

製造元
新富士バーナー株式会社
〒441-0314
愛知県豊川市御津町御幸浜1号地1-3
TEL0533-75-5000(代) FAX0533-75-5033
MADE IN JAPAN